

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



平素より大変お世話になっております。新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向に転じ、予断を許さない情勢が続くなか、最前線で医療提供体制を支えていらっしゃる先生方から感謝を申し上げます。

参議院予算委員会での質問

政府として不妊治療をはじめ女性や子どもへのさまざまな支援を総合的に推進していく旨の答弁をいただきました。

訪日外国人観光客コロナ対策プロジェクトチームについて 予算委員会での質問でも取り上げたところ、二〇二二年の東京オリンピック・パラリンピック開催に当たり、水際での検査や入国後の感染対策を外務省や法務省とも連携して十分講ずること、医療機関や保健所に負担がかけられないよう、民間医療保険への加入勧奨や、民間医療保険への加入勧奨、感染症対策の強化など、現在求められる施策の原形が数多く提言されています。

また、予算委員会での質問も踏まえて、査証発給に際してPCR陰性証明の取得、②民間医療保険の義務的加入等、③COCAなどのアプリのインストール、④入国後14日間の健康報告義務の順守と旅行業や宿泊観光業が安心して外国人観光客を迎え入れる体制を整備することとしています。

また、予算委員会での質問も踏まえて、査証発給に際してPCR陰性証明の取得、②民間医療保険の義務的加入等、③COCAなどのアプリのインストール、④入国後14日間の健康報告義務の順守と旅行業や宿泊観光業が安心して外国人観光客を迎え入れる体制を整備することとしています。

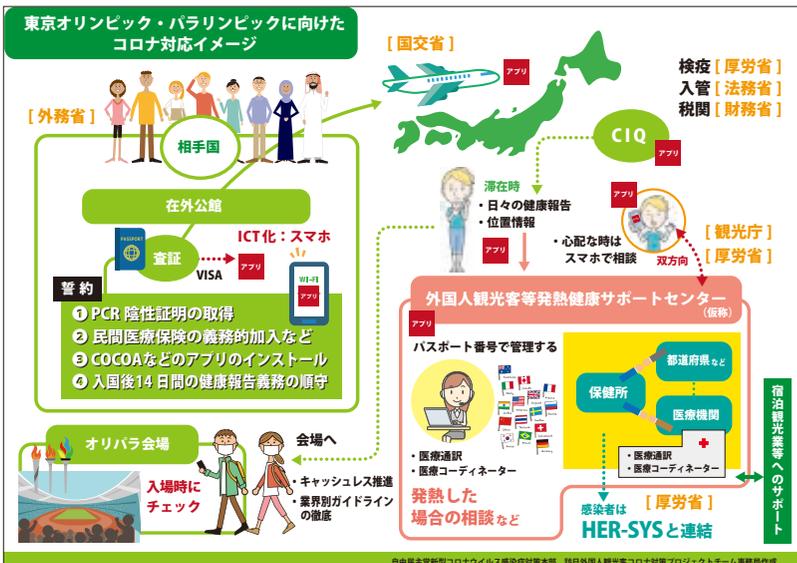
また、予算委員会での質問も踏まえて、査証発給に際してPCR陰性証明の取得、②民間医療保険の義務的加入等、③COCAなどのアプリのインストール、④入国後14日間の健康報告義務の順守と旅行業や宿泊観光業が安心して外国人観光客を迎え入れる体制を整備することとしています。



2018年4月27日 外国人観光客に対する快適な医療の確保に向けた第一次提言



2020年12月3日 訪日外国人観光客コロナ対策PT提言について



訪日外国人観光客コロナ対策PT提言添付資料 東京オリパラに向けたイメージ

国会閉会後は、予算の議論が本格化しました。十二月十五日の自民党厚生労働部会を経て、第三次補正予算に四兆七千三百三十億円を計上できる見込みとなり、うち一兆九千三百七十四



10月27日 小児科への支援を求める要望書を、日本小児科医学会、自民党有志議員とともに田村厚生労働大臣に提出



11月12日 不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟として、菅総理大臣に要望書を提出



11月19日 参議院厚生労働委員会にて質問に立ち、医療機関への支援を訴えたほか、新型コロナウイルスの感染が拡大している現在の情勢は、公衆衛生的見地から保健所での積極的疫学調査を一度やめて、より重症化しやすい方々を迅速に入院へつなげるため医療・保健資源を集中させてシフトさせていくべき局面であると指摘して、翌11月20日、厚生労働省から事務連絡「積極的疫学調査における優先度について」を出していただくことができました



11月25日 参議院予算委員会



12月1日 参議院厚生労働委員会にて、理事として予防接種法の附帯決議を読み上げました

を設け、また訪日外国人観光客の健康情報等を管理する外国人健康管理システム(仮称)を整えることで、安心して観光を楽しんでもらうとともに、万一感染が